

令和6年度介護報酬改定による影響及び 関連する施策への取組状況等に関する調査結果（まとめ）

令和6年度介護報酬改定が施行され、臨時のものを除けば過去2番目の高い改定率（+1.59%）となったものの、サービスごとの濃淡や加算算定要件のハードルの高さから、様々な課題が見えてきている。

また、介護分野を取り巻く環境が大きく変化しつつあるなかで、経営の大規模化・協働化や保険外サービスの推進等、従来の枠組みに留まらない取組が求められている。

そこで本会では、これからの施策において特に重点となる各テーマについて、介護事業者の状況と意見を把握するため、令和6年5月27日～6月17日の間、表記調査を行った。

なお、当該調査については本会会員を中心にごく簡易な聞き取りを行ったものであることから、回答数を非公表とし、参考として取り扱うものとする。回答をいただいたサービス種別のほとんどは特別養護老人ホーム（82.4%）で、その他に小規模多機能型居宅介護（11.8%）と養護老人ホーム（5.9%）があった。

1. 令和6年度介護報酬改定について

1. 改定結果への評価について

「大いに評価している」とする回答はなく、53.3%が「評価している」と答えたものの、「どちらとも言えない」（40.0%）と「評価していない」（6.7%）などが相当数を占める結果となった。

その理由として多かったのは、複雑な要件を求める加算による措置が中心となつてのプラス改定であることや、基準費用額の引き上げにおいて食費が反映されなかったことだが、その一方で、医療分野よりも改定率が高くなったこと、メッセージが明瞭な改定だったこと等を評価する意見もあった。

2. 改定による経営状況への影響について

プラス改定だったものの、大半が「収入が増加するが、経営は安定しない」（70.6%）と回答。その他は「どちらとも言えない」（29.4%）となり、経営が安定する見込みを示した回答者は無かった。

その理由としては、人件費や物価等の高騰を補填するに十分な上げ幅では無かったことが共通してあげられた。

3. 介護職員等処遇改善加算について

今回の介護報酬改定において介護従事者の処遇改善に関する3つの加算が一本化され、新たに「介護職員等処遇改善加算」が創設されたことを受けて、ほとんどの回答者が令和6年度いっぱいの猶予期間満了を待たずに「準備が整い次第、新加算（Ⅰ～Ⅳ）へ移行する」（94.1%）と答えた一方で、「検討中（または分からない）」（5.9%）とする回答も若干ながら見られた。

職員へ早期に還元させたいという考えや、新加算を取得しなければ人材確保ができないという考えから、新加算が導入される6月から早々に算定するという回答者が多かったが、やはり基本報酬のより大きな引き上げを求める声もあった。

4. 生産性向上推進体制加算について

介護ロボットやICT等の導入後の継続的なテクノロジー活用を支援するため創設された「生産性向上推進体制加算」について、上位区分である（Ⅰ）（100単位）を算定する予定とした回答者はなく、算定するとしても（Ⅱ）（10単位）を予定（52.9%）しており、その他では「検討中」（23.5%）と「いずれも算定する予定はない」（23.5%）という結果となった。

その理由として、テクノロジーの活用に係る体制の準備が不十分であること、算定のための業務負担が過多であること、とりわけ（Ⅰ）の算定には多額の費用が必要となることなどがあり、補助金の活用を進めていくとする回答もあった。

5. 医療機関との連携体制の構築について

今回の改定では医療・介護連携が強く推進されることとなり、施設・居住系サービスにおいては「協力医療機関との連携体制の構築」が義務化されたことについて、多くの回答者が「要件を満たす協力医療機関について確保済または目途が立っている」（82.4%）となった一方で、「要件を満たす協力医療機関について、目途が立っていない」（11.8%）、「協力医療機関については確保済または目途が立っているが、要件については協議・調整を要する」（5.9%）との回答もあり、引き続き丁寧な対応が求められることが分かった。

あげられた意見として、医療機関との連携は今後必須という理解がある一方で、医療資源の手薄な地域では連携の義務化が困難であり、調整・斡旋等が必要ではないかというものや、連携に係る相互理解には課題があり、適切な運用について検討していく必要があることなどがあつた。

II. 関連する施策への取組状況等について

1. 介護事業経営の大規模化・協働化について

生産性向上、経営や人員配置の効率化を目指し、「経営の大規模化・協働化」が提唱されていることについてどのように感じているか聞いたところ、「どちらとも言えない」（52.9%）が最も多く、次いで「賛成だが、推進は難しいと思う」（29.4%）となり、「賛成であり、推進すべきである」（17.6%）は少数に留まった。

理由として、法人間の理念や風土の違い、職員のレベルなどに差異があるなかで実務上の連携が十分に図られることへのイメージができないという声や、合併・吸収により必ずしも労働条件等が改善させるわけではないことへの懸念などがあげられた。

関連として「社会福祉連携推進法人」制度の運用についてどのように感じているか聞いたところ、同様の理由から「どちらとも言えない」（58.8%）が大勢を占め、「賛成だが、推進は難しいと思う」（29.4%）と合わせれば9割近くがポジティブに受け止めておらず、「設立または参画を検討（予定）している」のはわずか（5.9%）だった。

一方で、消耗品等物品購入等でのスケールメリットや、災害、クラスター等の発生時における協働化を評価する意見とともに、実践事例の紹介や、補助金の拡充、統括管理・指導・支援の在り方の整理等、メリットの明確化を進めていくべきであるとする意見があつた。

2. 保険外サービスの活用について

高齢者の多様なニーズに応えるとともに、経営基盤の強化や賃上げへの還元にも繋がるとして「保険外サービスの活用」が提唱されていることについて、どのように感じているか聞いたところ、「どちらとも言えない」（47.1%）、「賛成だが、推進は難しいと思う」（23.5%）が多かったものの、3割近くの回答者が「賛成であり、推進すべきである」（29.4%）としており、一定のニーズがあることがうかがえる。

その理由として、「確実にあるニーズに応えるため必要」「人口減少地域において保険事業だけで対応することは困難」「地域の活性化につながる」などの意見があつた一方で、明確な法人理念に基づくものであるべきとする意見、利用する高齢者の経済上の課題も含めた対価等条件設定にハ一

ドルを感じるとする意見などがあった。

有用と感じる取組について聞いたところ、「郵便局が実証した独居世帯にタブレットを貸し出して安否確認や服薬支援をする事例は参考になる。そのほか、各地で実践されている買い物代行や輸送支援」とする回答があった。

3. ハローワーク等、公的人材紹介の充実について

人材紹介会社に対する指導監督の強化について取り組みが進められている一方で、ハローワークや都道府県等を介した公的人材紹介を充実させるべきとする意見があることについて、どのように感じているか聞いたところ、大半が「賛成であり、推進すべきである」（58.8%）と答えたが、「賛成だが、推進は難しいと思う」（23.5%）とする意見も一定数あった。

その理由として、信頼性の高さや費用の面、立地条件等から民間事業者の活用が難しいケースもあること等から公的人材紹介の充実を求める意見が多いものの、事実としてハローワーク等経由の採用が減っており、民間の人材紹介事業者からのものが増加していることや、求人票等の見直しが必要であることを指摘する意見もあった。

公的人材紹介を充実させるために、有用と感じる取り組みを聞いたところ、ハローワーク職員への給与面・人事考課の面でのインセンティブ付与や、入職支度金等の経済支援の検討、求職者情報の閲覧を可能とすること、人材紹介に係る一部手続きの民間委託、ホームページやSNSを通じた情報発信の改善、介護に関するポジティブな情報の発信等があげられた。

III. 物価・光熱水費等の状況について

1. 電気・ガス価格激変緩和対策事業の終了による影響について

調査実施当時、電気・都市ガス料金への補助金制度「電気・ガス価格激変緩和対策事業」が5月使用分までで終了することとされており、その影響についてどのように見込んでいるか等について状況を聞き、介護現場においても大きな影響が懸念されることを把握した。

調査集計途中ではあったものの、本会ではその内容をもとに令和6年6月6日に自由民主党の渡海紀三朗政務調査会長へ要望書「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2024の策定に係る要望について」を提出、「物価動向等を踏まえた必要な支援の継続」を求めたところ、6月21日に岸田文雄首相より▽8月・9月・10月の3か月分について電気・ガス料金補助を行い、年末までの消費者物価の押し下げ効果を月平均0.5%ポイント以上とすること、▽秋の策定を目指す経済対策を通じて、医療・介護等に対する物価高騰への幅広い支援を「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の拡充により講ずることが表明された。

そのため、当該調査結果については政府の対応により状況が変化していることを踏まえ、公表を控えるものとする。

しかしながら、現状においてもなお物価等の高騰は続いており、各事業者においてとりわけ電気料金や食材料費の上昇への対応を迫られていることについては留意いただきたい。